

先輩に聞く進路選びのポイント

日本薬学生連盟インタビュー

日本薬学生連盟広報部は、薬学部を卒業後、社会で活躍されている2人の先輩に、学生時代やその後のキャリア設計に関するお話をうかがいました。仕事や結婚、出産など人生の選択について、就職活動時だけで

はなく、皆さまの今後のキャリアパス設計に役立つ記事となりましたら幸いです(2021年度広報統括理事
日本薬科大学5年生 山沢智)

アイコン・ジャパン

医薬品開発プロジェクトマネージャー

宮島 泉恵さん

英語と薬学の知識を生かす

——学生時代の就職活動時にはどのようなキャリア設計を考えていましたか。

私が自分のキャリアを考える原点は、高校時代に1年間カナダに留学した時の経験です。現地の学生や他の留学生と知り合う中で、彼らは英語でのコミュニケーションが当たり前にできていて、英語が喋れるだけで、国際的な仕事で活躍できるわけではないと感じました。その経験から、何を伝えるために英語を使っているのかと考えて薬学部に進学し、英語と薬学の知識を生かせる仕事がしたいという思いを軸に、就職活動を開始しました。

就職活動を始めた頃は、医療業界に限らず、化学系メーカーや商社なども見ていました。製薬企業の開発職やMR、CRO、外国人との対話がありそうな薬局などにアプローチする中で、英語と薬学という私の強みを評価していただき、最終的に内定をいただいたのが、製薬企業のMRとCROでした。

当時は、グローバルスタディに興味があり、入社後すぐに英語を活用して働けそうなCROを選びました。

——就職活動で最初に取り組んだことは何ですか。

たまたま日本薬学生連盟を友人から紹介されて、そこで先輩や社会人の方のお話を聞いたのが、就職活動の第一歩だったと思います。その後、

ブルークロス調剤薬局のインターンシップに参加して薬剤師の仕事に触れ、その翌年に内資系と外資系の製薬企業2社でMRのインターンシップを経験したほか、ダウ・ケミカルという化学メーカーのインターンシップにも参加して、どんな仕事をどんな人がしているのかを見ました。

——将来を考えた時、男女問わず、結婚や子育てなど、お仕事以外のライフプランも考える時があると思いますが、キャリアとの両立はどのようにしたのでしょうか。

プライベートを充実させたいと考え始めたのはPPDで働いていた頃です。仕事だけでなく、自分の人生で何が欲しいかなど考えたときに、やっぱり子供が欲しいなと思って、婚活を1年ほどしました。ヤンセンファーマに転職してから、仕事も少し落ち着いてきて、結婚や子育てを経験しました。

学生時代は福利厚生って何という感じで、薬学部を卒業して最初の数年は、ひたすら仕事を頑張っていた気がします。今思うと、一番仕事に時間をかけることができた卒業後すぐの独身の時期に経験したことが、仕事をする上での自分の基礎になっていると思います。

その後、他の業種や業界に行きましたが、子育てで自分が一日の中で仕事に使える時間が短くなり、その短い時間の中で成果を出していかなければならないとなった時に、働き方の基礎を養っておくのは新卒のキャリアで大事なことだったと感じています。

ファーストキャリアで、結婚や出産、子育てなどをした後も仕事を続けられる方はいますが、新



卒で就いた会社でライフプランに対する全ての制度が自分に合っていることはおそらく少ないと思います。新卒の時の自分もどんな人生を歩みたいかなんて全然明確ではなかったです。仕事だけではなくプライベートや社会貢献とか色々なものを全部ひっくるめて、自分の人生を運んでくれるものがキャリアだとヤンセンファーマにいた頃に教わりました。その時々に合わせて何を頑張りたいのかを柔軟に考え、自分にとってベストな仕事を見つかけられると良いと思っています。残念ながらワークライフバランスなんて、私もいまだに全然とれていませんが、日々向き合い続けて学んでいます(笑)

——就職に向けて、学生のうちにしておいた方が良いことは何でしょうか。

失敗を恐れず、自分で何かをやってみることで。それが、リーダーのポジションであればさら

➤



インターンシップ

薬局見学会

随時受付中!!

☎024-935-9750 ✉contact@cosmo-ph.co.jp (担当: 佐藤・佐々木)



コスモファーマグループ

本社/〒963-8025 福島県郡山市薬野三丁目12番2号

TEL 024-935-9750 FAX 024-933-7779

http://www.cosmo-ph.co.jp/